

●この説明書は必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体脱落の原因になります。

●丁番固定ねじの締め忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び、丁番本体の止めねじが必ず締まっている事を確認してください。

■施工上のお願い

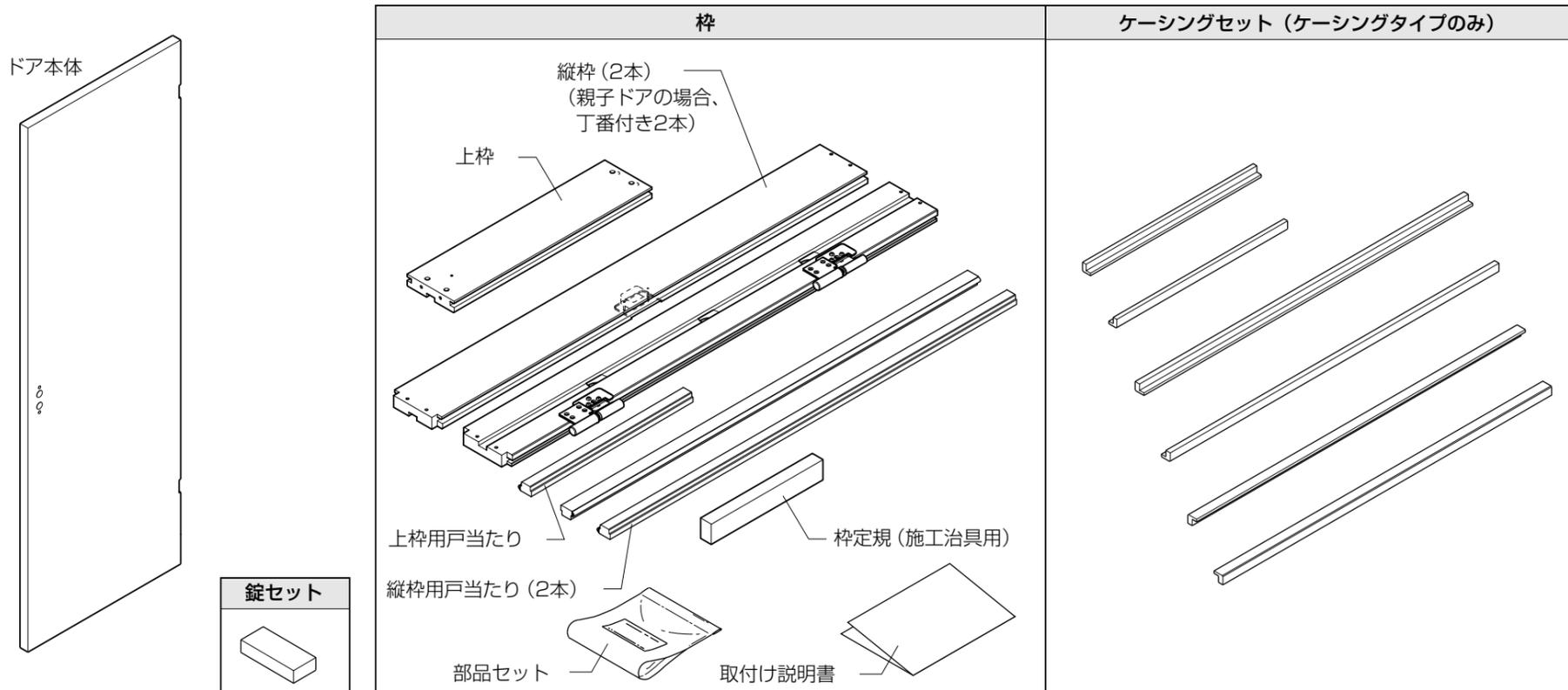
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
 - 集成材を使用していますので枠にソリ、ねじれがある場合があります。かい木を使用し、建具枠の水平・垂直を調整してください。
 - 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木の両面に接着剤を塗布してください。
 - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
 - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 造作材・建具材と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
 - 丁番は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
 - 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - くつずり部の納め方に応じて縦枠を切断してください。
 - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをお勧めします。

■縦枠の切断

平薄くつずり	切断不要
埋込くつずり	切断(12mm)
くつずりなし	

■部品・部材の明細

[標準ドア・トイレドア・親子ドアの場合]



■ 枠セット明細

	標準ドア	トイレドア	親子ドア
縦 枠	2	2	2
上 枠	1	1	1
戸当たり	縦2・上1	縦2・上1	縦2・上1
枠定規	1	1	1

■ ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■ 本体丁番ねじセット (枠に同梱、丁番にテープ止め)

本体取付けねじ (皿タッピンねじφ4×30)	8本
------------------------	----

■ 錠セット

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
台座取付けねじ (φ4×30)	2本
ハンドル固定ねじ (φ4×16)	1本

■ 取付け範囲 (単位: mm)

	ケーシングタイプ	
	薄壁用	厚壁用
対象壁厚	111~141	142~170

■ 部品セット

標準ドア・トイレドア用

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠・縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50	20本 (22本)

※ () 内本数はH22用です。

親子ドア用

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠・縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50	20本 (22本)
フランス落とし受け	1個
フランス落とし受け取付け用皿木ねじφ3.5×20	2本

※ () 内本数はH22用です。

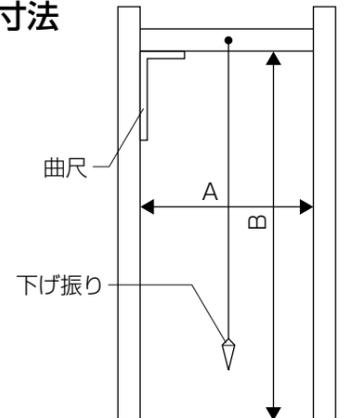
※ 戸当たりストッパーセットは別売りです。

■ 開口部の作り方

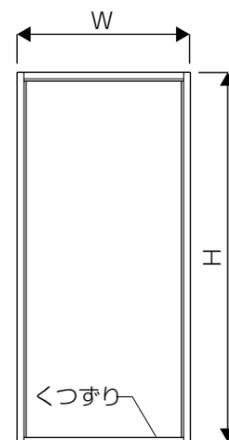
※ 開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

● 開口寸法



● 製品寸法

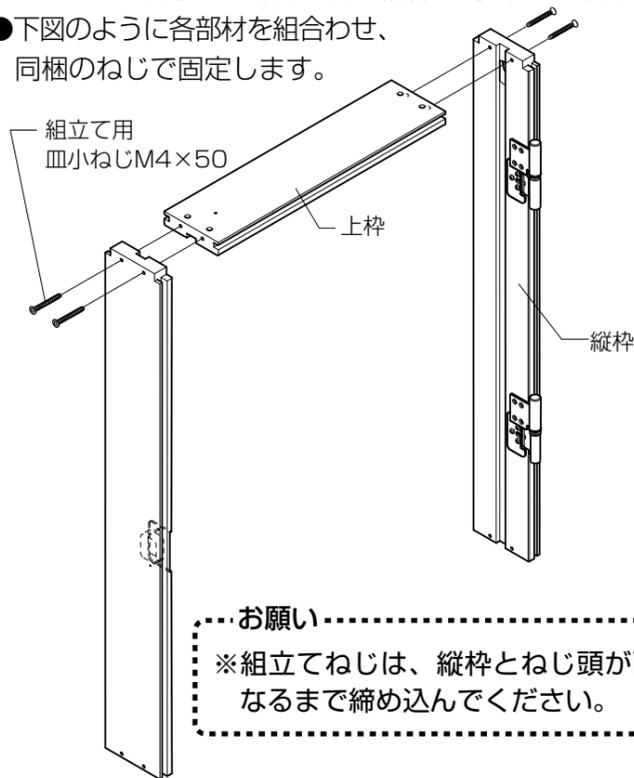


■ 取付け順序

1 枠の組立て

〔くつずりを取付ける場合、及び縦枠を切断する場合〕

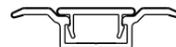
- 下図のように各部材を合わせ、同梱のねじで固定します。



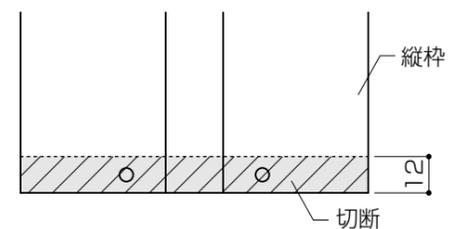
〔床先張り (枠後付け) の場合〕

※ 埋込くつずりセット (別売り) を使用してください。

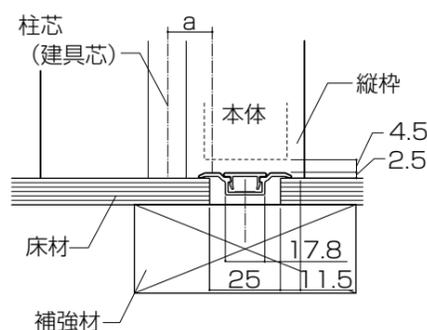
● 埋込くつずり



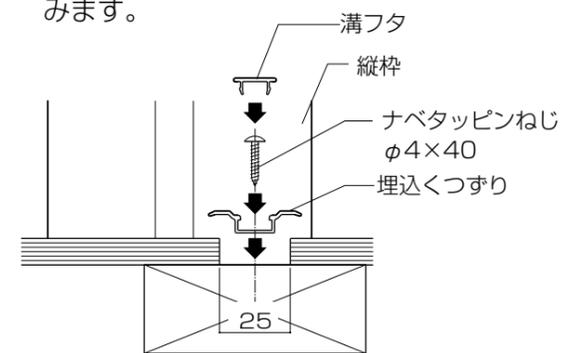
※ 縦枠 (斜線部) を切断してください。



- ① 補強材を必ず入れ、右図の位置に25mmあけて床材を張ります。 ※ 躯体に縦枠を仮止めして位置出しをしてください。



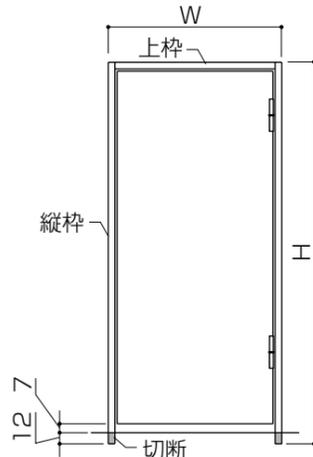
- ② 埋込くつずりを、戸当たりに接する位置にねじ止めし、溝フタをはめ込みます。



枠機種	C付115 (薄壁)	C付142 (厚壁)
a寸法	21	34.5

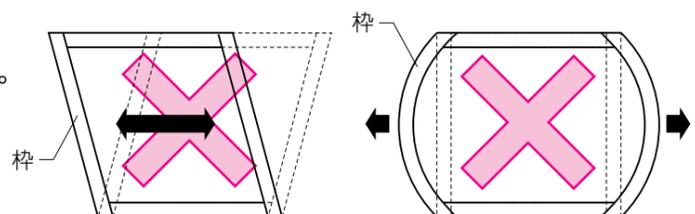
■ くつずりを使用しない場合

- ドア下端のチリを標準7mmとし、床部の納め方に合わせて縦枠を (12mmまで) 切詰めます。



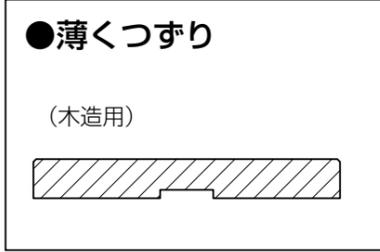
● お願い

- ※ ガイド穴にゴミなどが入らないよう注意してください。
- ※ 枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- ※ ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。



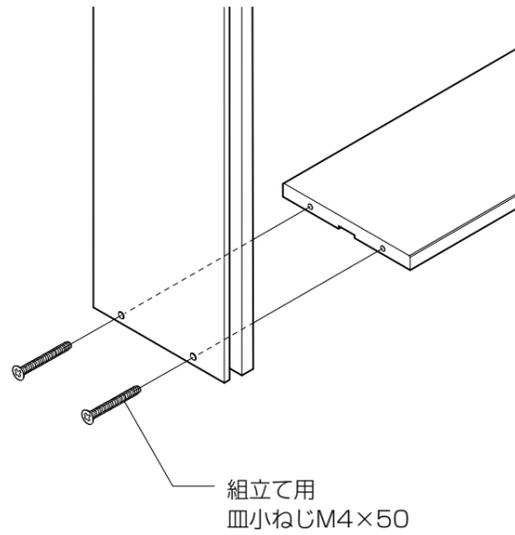
〔床後張り（枠先付け）の場合〕

※薄くつずりセット（別売り）を使用してください。



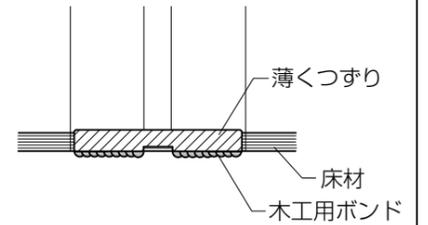
■標準・親子ドア・トイレドアの場合

●下図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。

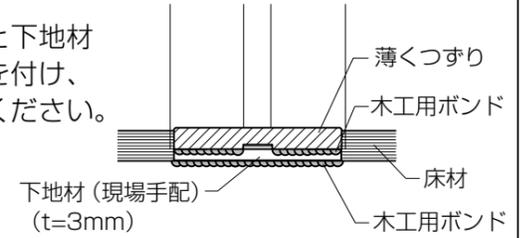


■躯体への取付け方

●床材厚さ12mm
※必ず薄くつずりに木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。

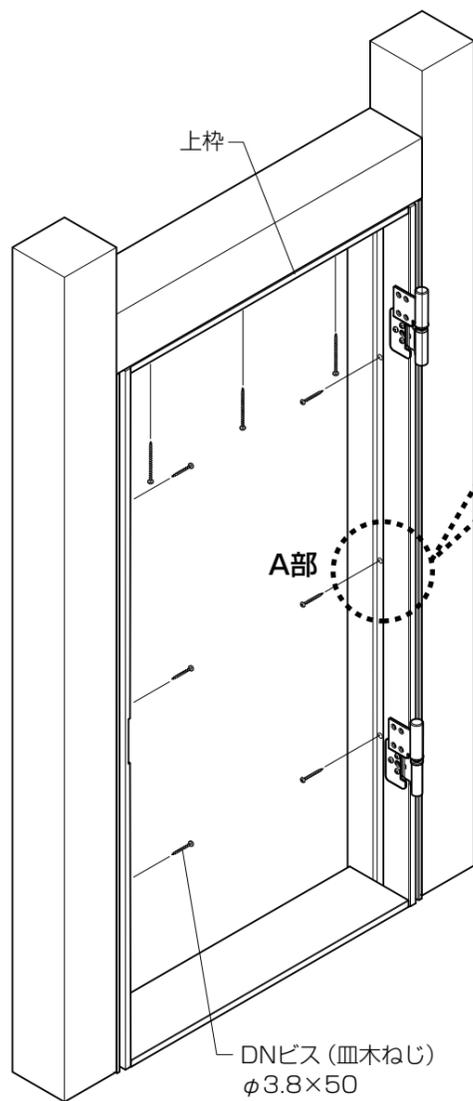
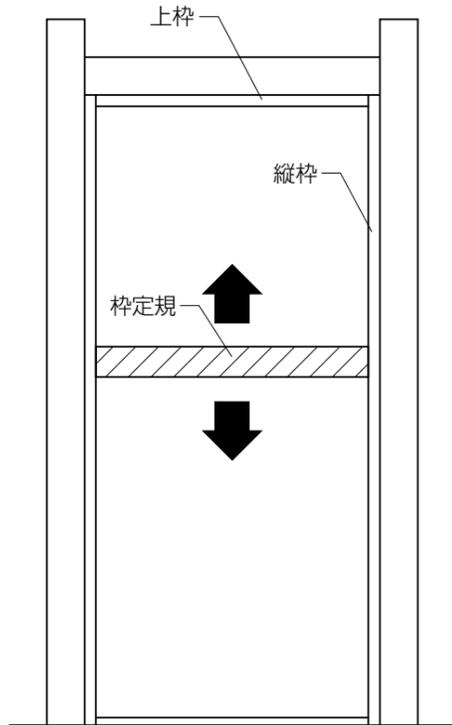


●床材厚さ15mm
※必ず薄くつずりと下地材に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。

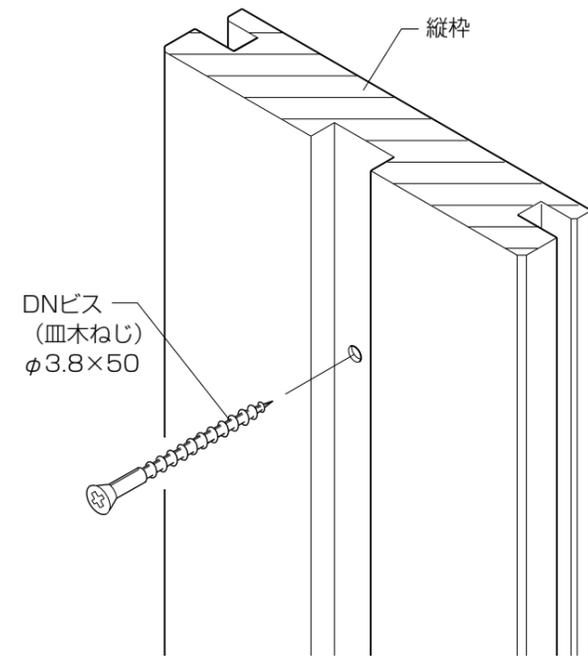


2 枠の取付け

- ①枠を開口部に固定します。
- ※床先張り（枠後付け）の場合は上枠・縦枠のみ固定します。
- ②枠定規ですき間が生じていないことを確認した後、本固定します。

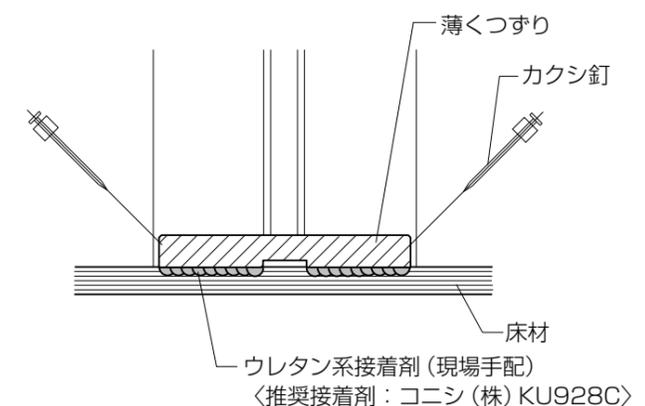


■A部詳細図



〔床後張り（枠先付け）の場合〕

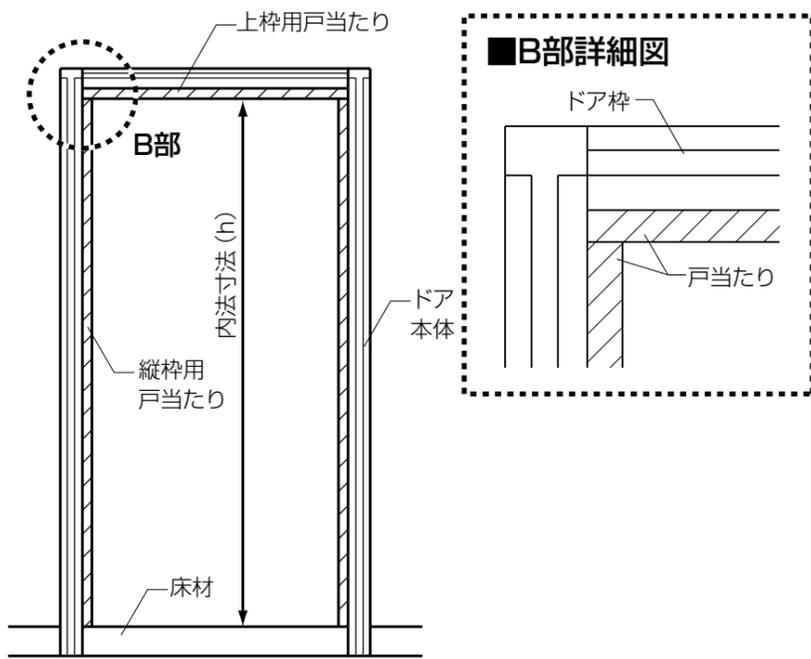
●薄くつずりは接着剤を塗布し、カクシ釘などで固定します。



3 戸当たりの取付け

- 壁材・床材を仕上げた後、戸当たりを取付けます。
- 同梱の戸当たりを現場寸法に合わせて下端を切詰め、木工用ボンドで枠に固定します。
- ①上枠用戸当たりを先に取付けます。
- ※仮止めする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。

(■カクシ釘使用方法参照)



■カクシ釘使用方法

- ①頭釘②折断筋③抜け止め筋
- ④残留釘⑤弾力材⑥接着材
- ⑦グラウンドライン部材
- ⑧パッチャルペンシル材

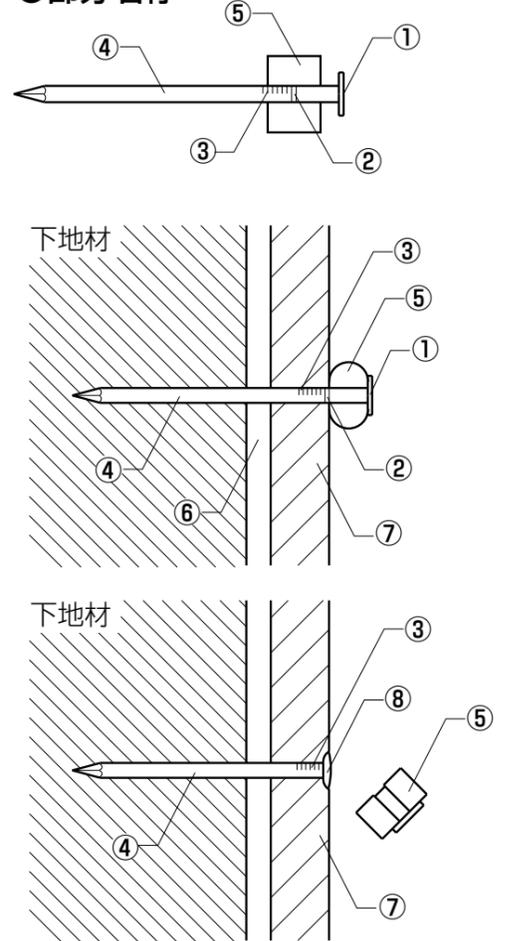
●仮止めする場合

頭釘①を打ち込むと折断筋②はグラウンドライン部材⑦に入り込み、これで仮止め完了です。接着完了後、弾力材⑤を横から叩いて折り取ります。

●本止めする場合

抜け止め筋③が働き「本止め」となります。さらに折り取り部をパッチャルペンシル材⑧で補修し、完了となります。

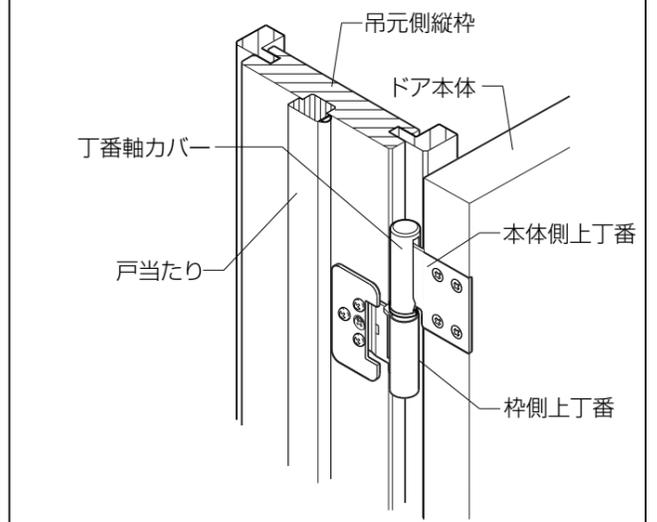
●部分名称



4 ドア本体の取付け

- ①ドア本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×30 (枠側丁番にテープ止め) で取付けます。(C・C'部)
- ※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
- ②丁番カバーを上にあげます。
- ③枠側上丁番のレバーを止まるまで下げます。(D部)
- ④本体側下丁番を、枠側下丁番に差込みます。(E部)
- ⑤本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
- ※本体側丁番の軸が枠側丁番に入ると自動でカバーが上がります。
- ※「カチャリ」とレバーが上がりますので、軸が丁番に入り込んだことを確認してください。
- ⑥丁番カバーを手で下げてください。(F図)
- ※パチンとはまるまで確実に下げてください。

■取付け完成図



●お願い

※本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・昼夜などで温度差の激しい場所
- ・湿気の多い場所

本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

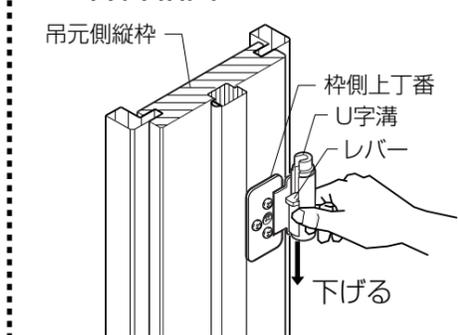
※長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。

本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

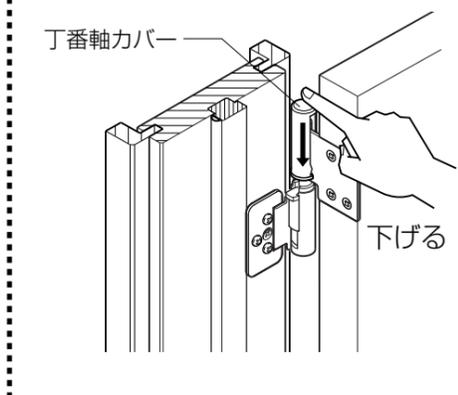
●お願い

※丁番ねじを締める時は、ねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。

■D部詳細図



■F図

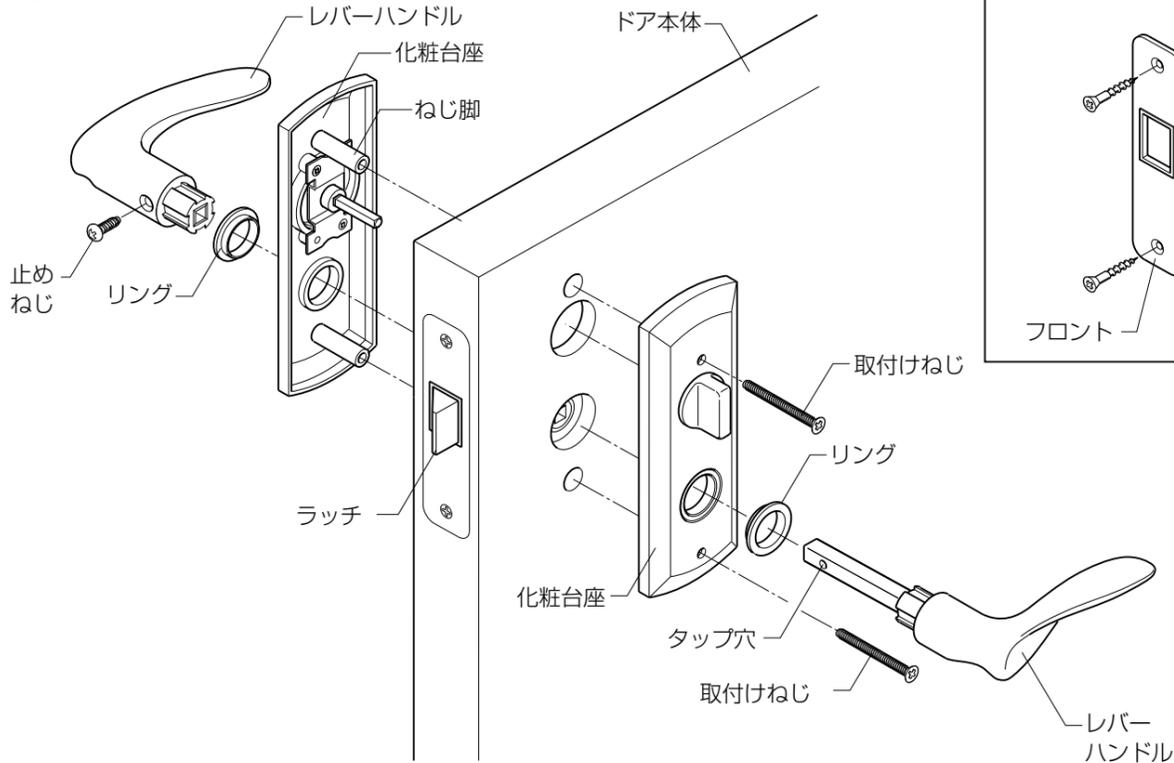


▲注意

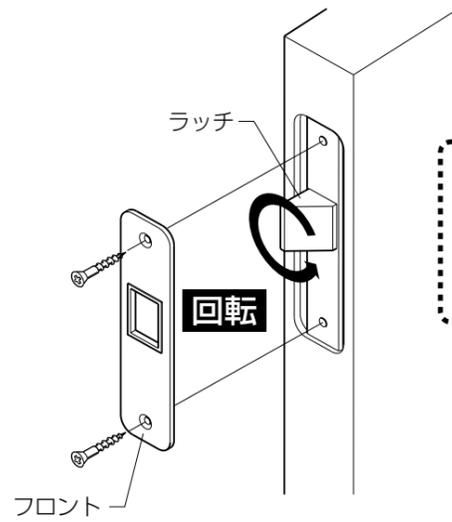
- 丁番固定ねじの締め忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び、丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。
- 本体を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。

5 把手の取付け

- 化粧台座を室内・外から組合わせ、ねじで仮止めします。
 - レバーハンドルを両側から差込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認した後、化粧台座をねじで本締めします。
 - レバーハンドルをねじで固定します。
- ※把手の取付けは必ず手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドリルは使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。

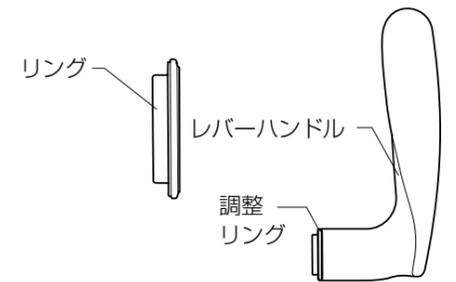


※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを回転させた後、フロントを付け直してください。



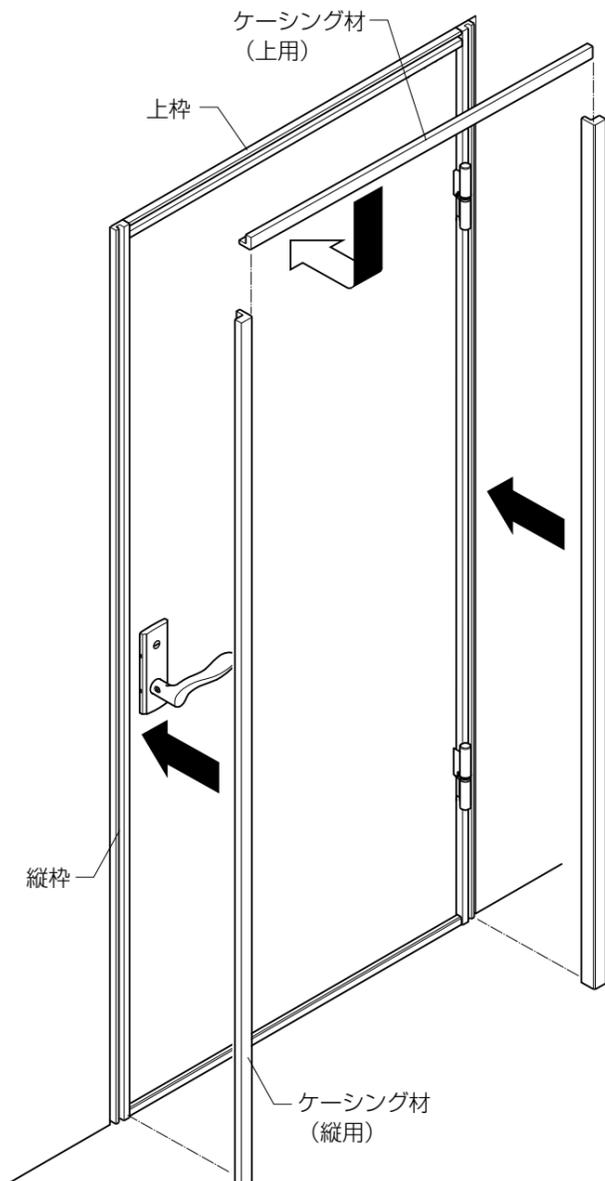
お願い
 ※フロントを付け直す際は、ねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。

※レバーハンドルにドアの厚さ方向のガタがある場合は、レバーハンドルセットに同梱の調整リングを、リングの外側に取付けてください。



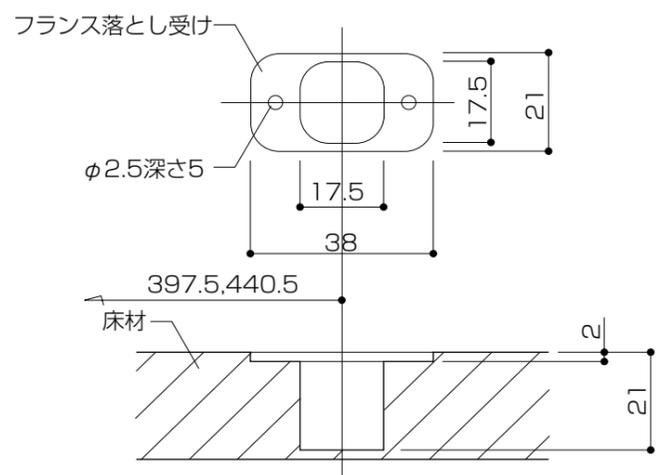
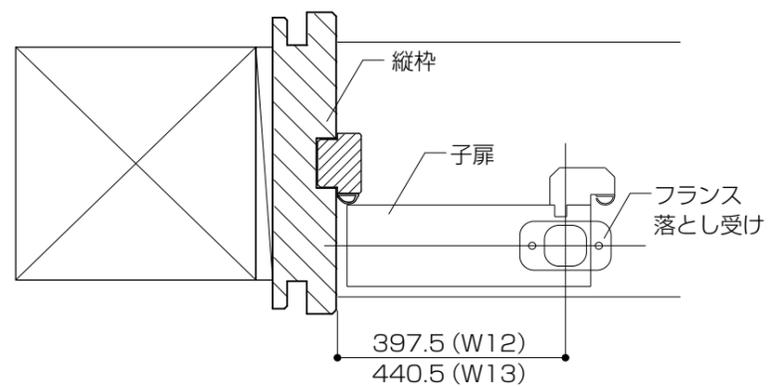
6 ケーシング材の取付け

- ※壁材・床材を仕上げた後からケーシング材を取付けてください。
- 別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - 枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。



7 フランス落とし受けの取付け

- 下図に従い床面を加工します。
 - フランス落とし受けを床面にはめ込み、木ねじで取付けます。
- ※専用の沓摺りを使用する場合は、フランス落とし受けは取付け済みです。



7 戸当たりストッパーの取付け

■壁床付け用 (別売)

■本体取付け用 (別売)

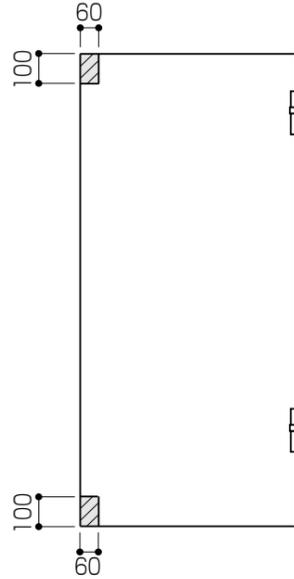
※この戸当たりストッパーは、ドア本体付け・壁付け兼用タイプです。ストッパーゴム

■床付け用 (別売)

■ドア本体上部木口取付け用

【本体取付け用戸当たりストッパー及び、キャッチの取付け範囲】

※下図の斜線範囲内に戸当たりストッパー本体、又はキャッチを取付けてください。
 ※壁付け、床付け戸当たりは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。

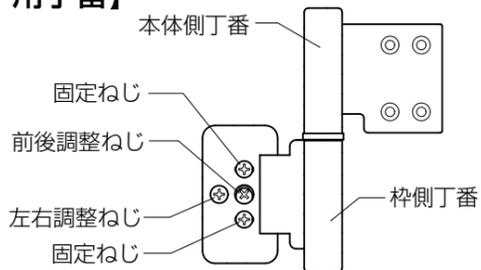


お願い
 ※本体へ戸当たりストッパー、又はキャッチを取付ける際は取付けねじが空転しないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。

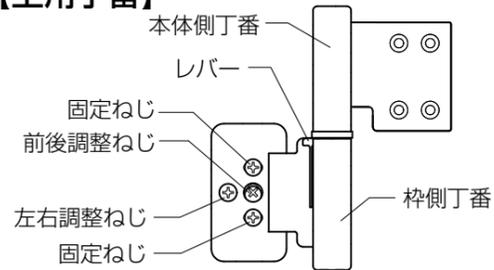
■建付け調整

■三次元丁番 (図は、右つり用丁番を示す)

【下用丁番】



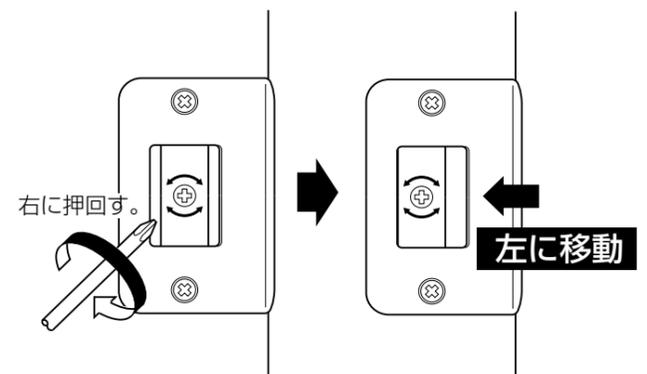
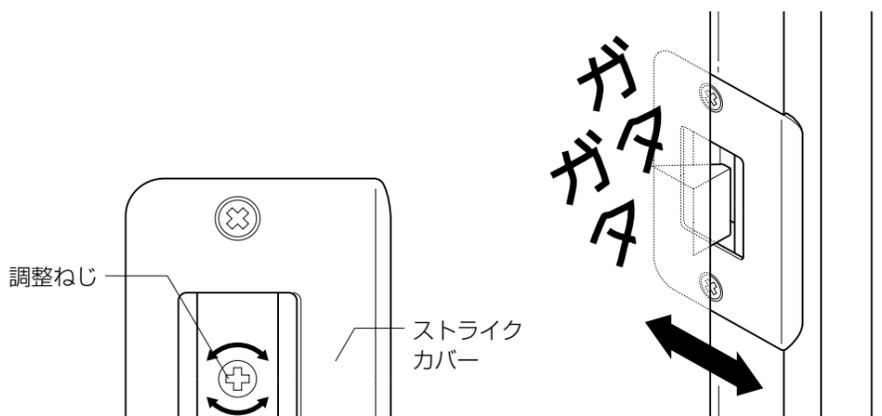
【上用丁番】



■建付け調整 (ストライクによる調整)

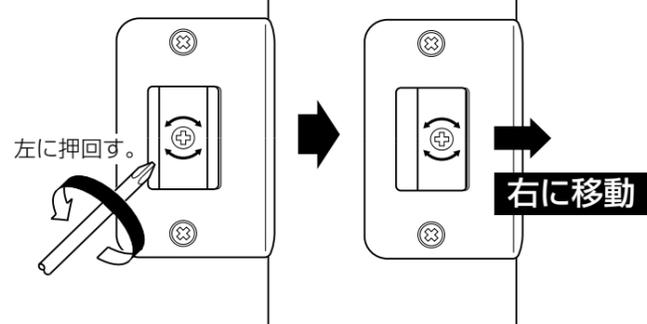
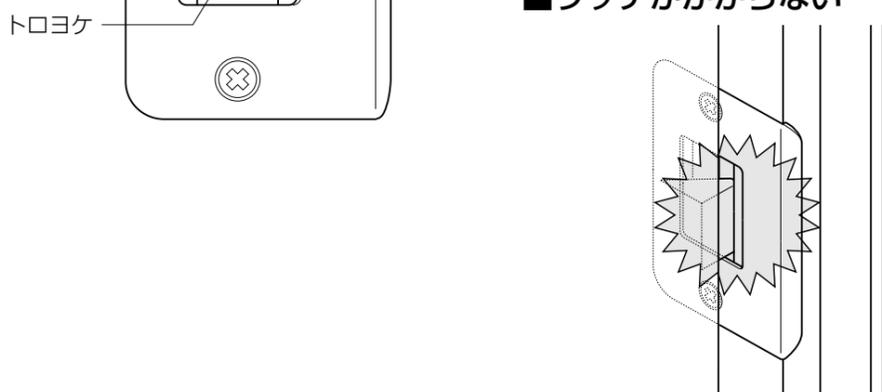
■ラッチがストライクの中でガタつく

●調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。



■ラッチがかからない

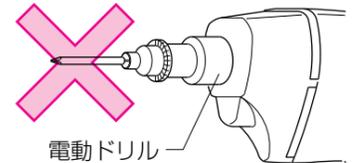
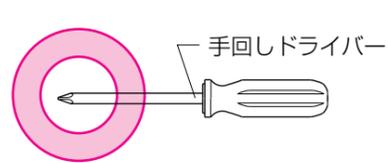
●調整ねじを押しながら、左に回してください。



■建付け調整 (丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

不具合例

1. ドアの上部が枠に当たる。

調整方法

- 本体側下丁番のキャップを外す。
- 上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- キャップをはめる。

不具合例

2. ドアの下部が枠に当たる。

調整方法

- 本体側下丁番のキャップを外す。
- 上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- キャップをはめる。

左右の調整

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

不具合例

1. ドアの開き側が枠に当たる。

調整方法

- 固定ねじを緩める。
- 左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- 固定ねじを締める。

不具合例

2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。

調整方法

- 固定ねじを緩める。
- 左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- 固定ねじを締める。

前後の調整

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。

不具合例

1. 開き側の枠が前に出ている。

調整方法

- 固定ねじを緩める。
- 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- 固定ねじを締める。

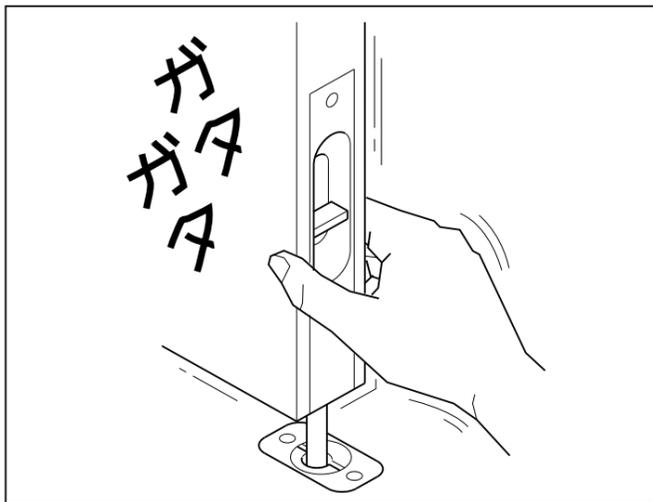
不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。

調整方法

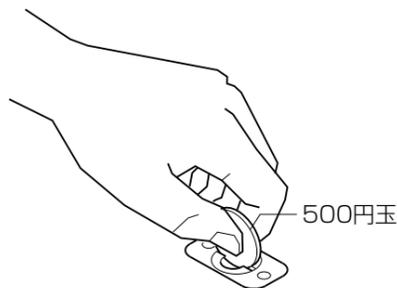
- 固定ねじを緩める。
- 前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- 固定ねじを締める。

■子扉のガタツキ調整 (フランス落とし受けによる調整)

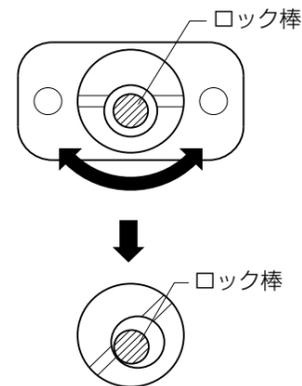


1 子扉がガタつく。

- コインなどで穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



【フランス落とし受け】

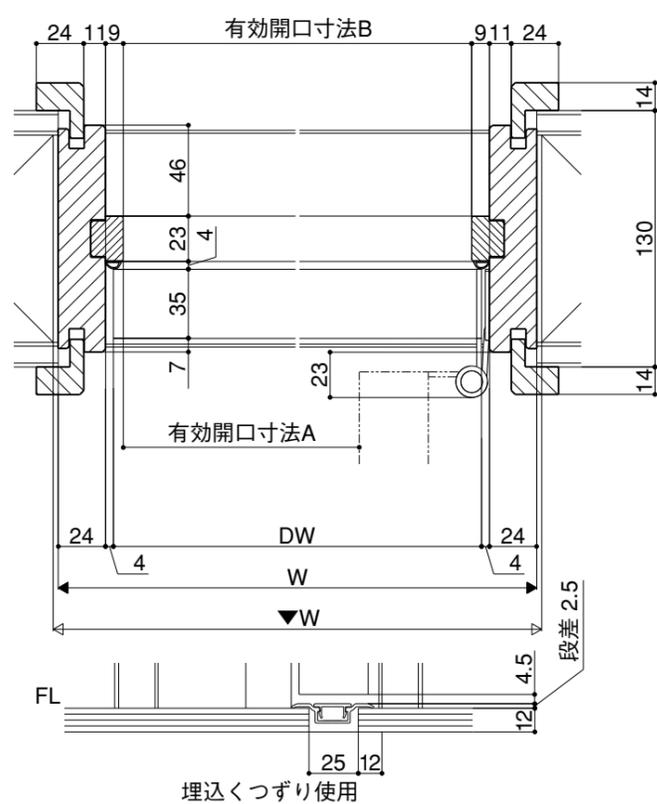
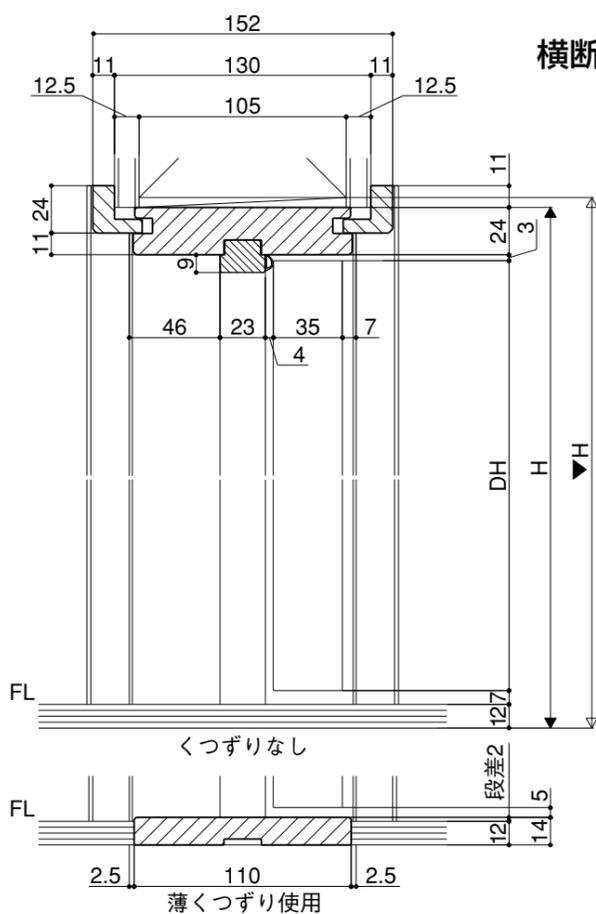


■納まり図

●標準/トイレドアユニット

縦断面図

	W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
標準 ドア	W06 (734)	611	668
	W07 (784)	661	718
	W08 (824)	701	758
	W09 (873)	750	807
トイレ ドア	W06 (648)	525	582
	W08 (824)	701	758
	W09 (873)	750	807

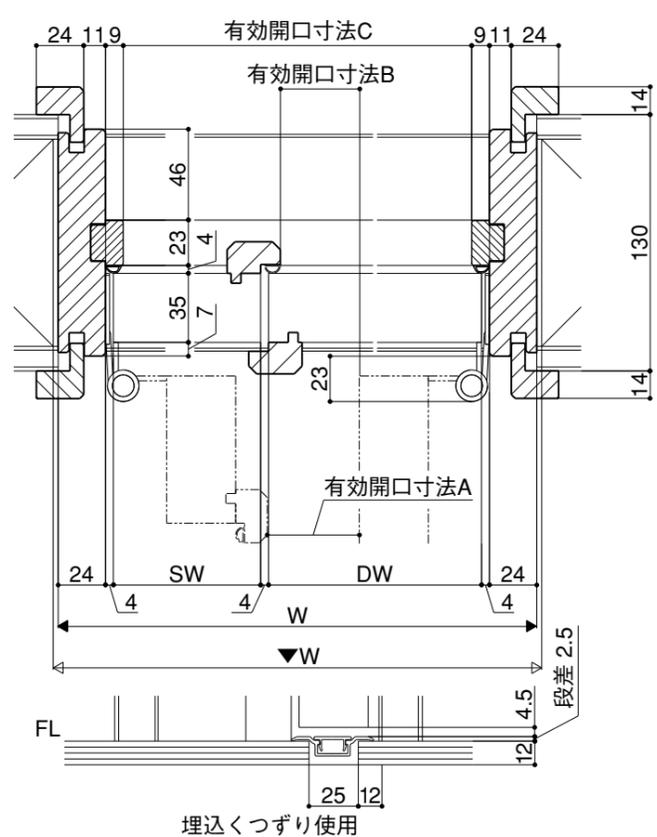
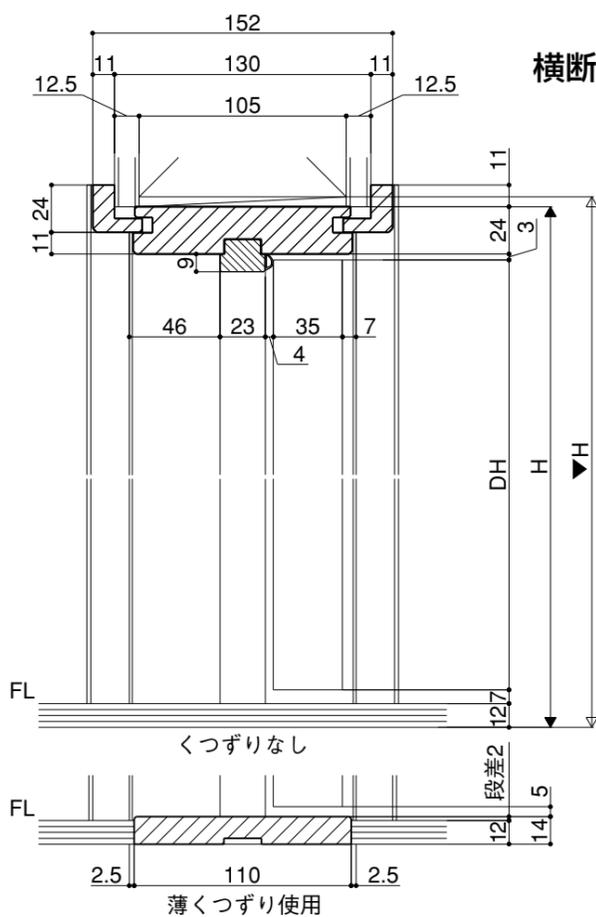


※枠の見込み寸法が変わっても、くつずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

●親子ドアユニット

縦断面図

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12 (1192)	996	660	1126
W13 (1324)	1128	749	1258



※枠の見込み寸法が変わっても、くつずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。